

豊橋市民病院

病院長名	平松 和洋
所在地	〒441-8570 愛知県豊橋市青竹町字八間西 50 番地
交通案内	豊橋鉄道バス「豊橋市民病院線」 ◇のりば 豊橋駅前・・・7 番 ◇所要時間 約 15 分 ◇料金 大人片道 300 円

□ 病院の特徴

豊橋市民病院は一般病床 780 床を有する愛知県東三河医療圏の中核病院として救命救急センターを有する三次救急医療機関で、地域医療支援病院、DPC 特定病院でもあります。

2016 年に高度放射線治療棟が完成し、放射線治療・検査機能が向上しました。その後、手術センター棟を増築し、ハイブリッド手術やロボット手術等により適した設備を整備しました。2024 年には東三河で初の感染症病棟を建設し、より安心して治療にあたることのできる環境を整えました。

専門医取得のための指導体制や必要な症例、設備面において充分な体制を整えています。皆さんと一緒に働けることを職員一同心よりお待ちしております。

□ 研修プログラムの特徴

産婦人科

【プログラム名】

豊橋市民病院産婦人科研修プログラム

【研修目標】

- ① 周産期領域、婦人科腫瘍領域、生殖・内分泌領域、女性のヘルスケア領域の 4 領域にわたり、十分な知識・技能を持ち、標準的な医療の提供ができること
- ② 必要に応じ、産婦人科領域以外の専門医への適切な紹介・転送の判断ができ、他領域医師からの相談にも的確な対応ができること
- ③ メディカルスタッフの意見を尊重し、患者から信頼され、地域医療を守る医師となること
- ④ 単なる知識の暗記でなく、知識を駆使し一人一人の患者の全身状態、社会的特性に配慮し、最適な医療を提供する計画を立て実行する能力を修得すること
上記を当プログラムの目標としています。

【研修期間】 3 年間

研修修了後も当院にて継続的にサブスペシャリティ研修が可能です。

【研修スケジュール】

3 年間のうち、当院での研修は 6 か月以上 24 か月以内、他連携施設での研修は 1 施設につき 24 か月以内です。なお地域医療を経験できる施設で少なくとも 1 度は研修を行う必要があります。



□ 主な連携施設

【連携施設】

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋掖済会病院、名古屋記念病院、聖隷浜松病院（地域）刈谷豊田総合病院、豊田厚生病院、小牧市民病院、岡崎市民病院、安城更生病院、公立西知多総合病院、知多半島総合医療センター、岐阜県立多治見病院、大垣市民病院、春日井市民病院

□ メッセージ

指導医（産婦人科第一部長 岡田 真由美）

豊橋市民病院は、東三河全地域から産婦人科の多くの疾患が集まってきました。

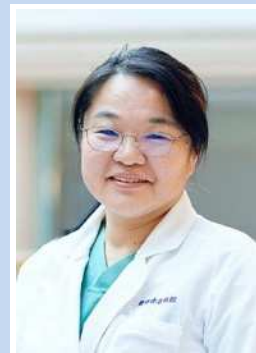
周産期について当院は総合周産期母子医療センターに指定されています。超緊急帝王切開術は麻酔科などの協力もあり、手術決定から児娩出まで 20 分程度の短時間で可能となります。2 人当直ですので安心して上級医に症例をコンサルトできます。

婦人科がん患者の治療症例数は愛知県内で 3 番目であり、多数例を扱っています。

子宮頸癌・体癌についてはほぼ腹腔鏡およびロボットで手術を行っています。内視鏡技術認定医の資格も取得可能です。

生殖医療は総合生殖医療センターがあり、体外受精も多く行っています。とくに受精卵の質をタイムラプスで診断することを世界で初めて開始し、その結果を世界に発信しています。採卵、胚移植の技術も取得できます。

女性のヘルスケア分野の外来診療、手術診療も習得できます。当院は指導体制が充実しており、質の高い医療を提供しています。是非当プログラムに応募してください。



□ 募集要項

・採用予定人数	5 人
・給与／月額	平均支給総額 約 1,000,000 円 うち基本支給額 354,000 円（2024 年度実績）
・当直回数／月	5~6 回（産婦人科・ER 直）
・時間外・当直手当／月	約 430,000 円（2024 年度実績）
・その他	給与の他、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など、各種手当が支給されます。
・応募連絡先	担当 豊橋市民病院 専門医研修センター 電話番号 0532-33-6330 E メール senmon-i@toyohashi-mh.jp